

卯三郎こけし

卯三郎こけしは、わたしたちが住む群馬県榛東村（しんとむら）にあります。こけしに使う木は、すべて群馬の山々から集めたものだそうです。

私たちが、卯三郎こけしを取材して分かったことをしょうかいします。



作り方

木を、1～2年乾燥させてからこけしを作ります。まずは、こけしの頭と体をそれぞれ作り、それをボンドでくっつけて合体させるそうです。

さまざまな製品

卯三郎こけしでは、昔ながらのこけしだけでなく、人気のキャラクターをデザインしたこけしや、小さなこけしキーホルダーなども販売されています。あなたも、お気に入りのこけしを見つけてみてください。



- 行ったことがない人、榛東村外に住んでいる人も、行ってみてください。

絵付け体験

卯三郎こけし本店では、自分だけのこけしを作れる絵付け体験をすることができます。あらかじめこけしの形になっている木に下絵を描き、絵の具で色をつけます。お手本もあるので、安心して作れます。私は、保育園のころ体験しましたが、自分で作ったオリジナルを今も大切にっています。あなたも、ぜひ体験してみてください。

